

2021年6月事業部会「定例会議（林の日）」議事録

日 時：6月10日（木）18：00～19：40

場 所：オンライン（zoom）会議

出席者：17名（以下 敬称略）

長谷川守 脇本和幸 丹野修 陣野益実 野間直紀 横井行男 榎田幹夫 瀬川真治
丸山正 飯塚義則 入江克昌 藤岡眞 三井大造 篠原直樹 石川雄一 高橋喜蔵
田口農雄

欠席者（事前連絡分）：古谷一祐 小勝眞佐枝 枝澤修 臼井治子 鈴木幸代 小川里花 芝原久
齋藤幸夫 有村英信

司会・議事進行：脇本和幸 書記（記録）：長谷川守

<議 題>

（以下敬称略）

（1）全体（確認・連絡・報告事項）

1. F I T運営委員会（森の日）報告 （長谷川）
5/28（木）4-rest メール：緊急事態宣言の延長（6/1～6/20）に関して
➡「緊急事態宣言下での活動自粛」のお願い（4月度 森の日確認による）
2. みどりとふれあうフェスティバル（オンライン開催）の写真コンテスト （長谷川）
 - ・フォトコンテストへの応募件数 3,579 点、その中の 578 点から 34 点を選出。F I T 景品を 30 セット準備。
 - ・景品発送に伴い、発送名簿管理について「個人情報の取扱委託及び安全管理に関する覚書」の取交し、「個人情報破棄証明書」の提出を要求される（事前に内容提示は無し）。
➡覚書の内容が重く、ボランティア団体としては受け入れがたく再検討を要求。
➡条文を提示し、参加者のご意見を伺う。再検討の内容を待って対応する。
3. 事業部会HP及びMLの現況（参加人数など） （飯塚・脇本）
 - ・HPへの掲載依頼については順次対応。F I T HPにも掲載依頼をしている。
 - ・MLの登録人数 151 人、MLの添付ファイルについての見解
➡利用件数 120～130 件/年、事業部会MLは添付ファイルを含めて、事業部会案件を実施していく上で利便性も含めて、必要不可欠なので今後も添付ファイル可として運用する。但し、ウィルス感染リスクもあり、定期的に各自PCの管理を促す。（パスワード管理、ウィルス除去ソフトの更新、不穏な拡張子ファイル、不審なURLへの注意など）
➡ML登録者は毎年増加していくので、登録件数に比例してリスクも大きくなるので、現在、閲覧のみの登録者に退出をお願いする方法を模索（検討）する。
4. 外部案件マニュアルについて （横井）
 - ・実施マニュアル（案）を作成、先月提示の内容を見直した（活動計画書、実施報告書をワードに）。内容について補足説明。実施報告書には次回に繋がるように“まとめ欄”に記入して頂きたい。
➡実施マニュアルは、後日F I T HP又は事業部会HPに掲載予定。
 - ・外部案件の一覧表（進捗表）は情報を一元的に集約し、事業部会に提示する。

（2）各担当の報告 等について

1. 森林ふれあい推進事業
 - 1) 体験参加者の応募状況について （脇本）
 - ・7/1（木）1名、7/10（土）1名、10月以降のイベントに2名の応募有り。
 - 2) 緊急事態宣言の延長対応（6/20まで延長） （長谷川）
 - ・緊急事態宣言期間中は、ふれあい推進事業イベントは中止。（6/4・金、6/12・土）
- 主幹事は2ヶ月前と終了後に会議へ出席、その後は進捗状況を必ず報告。

（実績）

- 1) セッコクと初夏の草花を訪ねる 中止（緊急事態宣言期間内） 5/31（藤岡）
 - ・応募 69 名 マスコミ掲載：読売・多摩版（4/9）、アサココ（4/15）、定年時代（5/10）。定年時代に掲載後 29 名の応募あり。参加者からは“参加したかった”との声あり。
- 2) 風薫る景信山・小仏城山を訪ねて相模湖へ 中止（緊急事態宣言期間内）

- ・応募 29 名 マスコミ掲載：読売・多摩版、アサココ (5/7)
昨年応募者、参加者 90 名に勧誘メールを送る。
 - ・スタッフによる下見を実施 (5/28)、良いコースなので来年は是非実施したい。
(予定)
- 3) 初夏の奥高尾 眺望を楽しむ林道ハイキング **中止** (緊急事態宣言期間内)
6/12 (代: 脇本)
- ・応募 20 名 昨年応募者、参加者 44 名に勧誘メール➡応募者 14 名
 - ・取組みが遅くなり皆様にご迷惑をかけてしまった。昨年は雨で中止、2 年続けて中止で残念。来年度は主幹事を横井さんに依頼。
- 4) 高尾山 初夏の親子自然観察会 6/27 (三井)
- ・応募状況 21 組 58 名、マスコミ掲載 2 社 (朝日、毎日)、京王ニュースに掲載。
➡メール 19 組 53 人、ハガキ 2 組 5 人
 - ・6/12 (土)、6/19 (土)、6/20 (日) でニレの会で下見、安全確認などを行い、本番 (6/27) に備える。皆様のご協力・ご指導をお願いしたい。
- 5) もう一つの高尾・南高尾山稜を訪ねる 7/1 (篠原)
- ・マスコミ掲載：定年時代、アサココ (6/3)、読売多摩版 (6/4)。
 - ・応募状況：現在 20 名、マスコミ掲載もあり今後若干増える。
 - ・ちらしの配布：599 ミュージアム、浅川市民センター。
- 6) 小下沢の溪流ジャブジャブ歩き 7/10 (石川)
- ・応募状況：5 組 15 名、締切り日 (6/25) までに増える事を期待。
 - ・ちらしの配布：599 ミュージアム、高尾山口駅前観光案内所。
 - ・スタッフの募集：若干不足しているので 4-rest メールで募集予定。
- 7) 山の日・高尾山GC 作戦 8/9 (楨田)
- ・2 コース (稲荷山コース、琵琶滝コース) 参加者各コース 30 名+スタッフ 6 名
 - ・参加者の募集：メール (申込みフォーム) および往復ハガキ、6/1 より募集開始
 - ・FIT 活動助成金を申請 (70,000 円) ➡ 7/17 (木) 森の日で審議予定
2. 田園調布学園土曜講座 (代: 長谷川)
- ・6/19 (土) 小さな熱帯雨林を歩く **中止** (緊急事態宣言期間内 ~6/20)
 - ・6/26 (土) 講座から開始予定
3. クラフト等イベント担当 (丸山・長谷川)
- ① みどりとふれあうフェスティバル (オンライン開催)
- ・事務局より参加団体の中で FIT の閲覧数が一番多かったとの口頭連絡あり。
(後日、資料提供との事)
- ② すみだこどもまつり ⇒ 事務局から“実施の方向”との連絡を受けている。
- ③ あだち自然体験デー ⇒ 事務局 (足立区) からの連絡待ち (問合せ中)
- ④ その他
- ・「木と遊ぼう森を考えよう」事務局より参加をの打診あり。
➡ 6/14 のオンラインによる説明 (企画書) を受け、参加の有無を判断する。
参加予定：長谷川、丸山、横井
実施日 10/30、10/31。会場：アークヒルズ カラヤン広場。
4. 高尾山GC 作戦 (楨田)
- (実績) 6 月 5 日 (土) 琵琶滝コース (**中止**) 参加申込者：一般 17 名、FIT 14 名
(予定) 7 月 3 日 (土) 稲荷山コース ➡ 近日中に FIT メールで参加者募集。
5. 低山はいかい (瀬川)
- (実績) 5 月 30 日 (日) **休止** (コロナ感染対策対応)
(予定) 6 月 23 日 (水) 「青梅丘陵と辛垣城址を歩く」(主幹事：小勝)
参加予定者：現在 12 名
6. 外部案件 (横井) 別紙 (「外部案件進捗表」) 参照/適時反映
- ・6/17 (木) 実践学園高校・高尾山登山 主担当：高橋
➡ **中止** (緊急事態宣言期間内)

- ・ 9/25 (土) 東京都環境公社・小学校教職員向け高尾山登山 主担当：岡本
 - ・ 10/4 (月) 八王子市立七国小学校・高尾山登山 主担当：丸山
 - ➡ 7/14 (水) 八王子市立七国小学校訪問 予定
- (質問) 中止になった場合は次の理由で“中止補填”を検討してほしい。
- ➡ ふれあい推進事業イベントは“中止補填”は規定されている。
 - ➡ 実施した場合は、協力金を出している。

* F I T、事業部会と連携して実施しているので、後日意見交換をしたい。

7. 会計報告 (丹野) 別紙 (会計報告) 参照

・ 支出 (中止補填金) : ふれあいイベント 4 件 ・ 現在残高 283,604 円

8. 7月の事業部会 (林の日) : 7月8日 (木) 18:00~ 宮坂区民センター で開催予定

(追記) 6月事業部会 (6/10) 以降に、進展した事項 (2点)

1. みどりとふれあうフェスティバルの景品発送について (名簿管理の件)

事務局より新たな「個人情報の取扱い及び安全管理に関する覚書」が送付されました。内容は、第11条 契約期間 が次のように変更されました。

本覚書の契約期間は、本覚書締結の日より令和3年6月30日までとする。

但し、本覚書が終了した後も個人情報の保護に関しては効力を有するものとする。

➡ 他の条文は変わりありませんが、契約期間が限定されました。但し書きの部分は、“善良な管理責任”と受取れます。

➡ よって、6/14付で覚書にサインをしました。景品発送後、名簿破棄依頼書にサインをして送付します。6/30までには全ての作業が終わる予定です。

2. “木とあそぼう森を考えよう” イベントに出店のための補助金申請の件

① 6/14 (月) 事務局から説明 (企画書) を受け、事業部会・クラフトとして参加可能と判断をしました。

➡ 出店費用 (協賛金) 10万円は必要ですが、クラフト単価等は従来より高めに設定が可能、日比谷や隅田まつりと同等の集客が見込める。

② 予算

支出 : 出店費用 10万円、スタッフ謝金 12万円 (@3000円*40人/2日間の延べ人数)、材料費 2万円 合計 24万円

収入 : クラフト売上げ 10万円

補助金申請額 : 14万円 (概算です。申請金額は詳細検討中)

③ 2019年度の日比谷みどりとふれあうフェスティバルでは、補助金6万円、助成金14.2万円で運営しています。

* F I T補助金使用には、F I T運営委員会での審議が必要です。直近の運営員会 (森の日) は 6/17 (木)、この運営委員会で審議をして頂くために資料を準備します。尚、出店申込締切日 7/16 (金)。

以 上